

授業科目名	公衆衛生看護学診断演習(2300310)		
時間割名	公衆衛生看護学診断演習(21208)		
時間割担当	芝田ゆかり	三浦康代	吉水清 井上葉子
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・1		

授業の目標・概要

公衆衛生看護診断モデルによって、集団を対象とした活動の前提となる地域診断について学ぶ。地域診断の実際として、健康診査や健康相談などの実績を既存資料から把握したり、地区踏査による自然環境、人々の暮らしや保健行動・価値観など、情報を多角的方法で把握したり、既習の公衆衛生学や情報心理学、疫学、統計学の手法を駆使し、地域の全体像を把握する。地域・学校・産業の特性を把握し、地域住民の健康課題を明確にするため、既存の資料や統計資料を分析した地域診断と活動課題を共有する。

学習の到達目標

1. 既存資料、地区踏査等で得た情報をアセスメントし、対象の健康課題を理解する。
2. 健康課題を解決するための公衆衛生看護活動の実際を理解する。
3. 本演習等を通して、自ら考え行動する知識と実践能力を養う。

授業方法・形式

演習

授業計画

- 1～3. ガイダンス、地域診断の方法の復習：
地域の情報収集方法、展開過程、地域特性の把握、アセスメント等
- 4～6. 地域診断演習（市町村）
- 7～8. 地区視診（地区踏査）
9. 地域診断演習：
市町村の健康課題の明確化
10. 地域診断発表
- 11～12. 健康診査演習
13. 健康相談演習
- 14～15. 家庭訪問演習
- 16～17. 学校保健演習
- 18～19. 産業保健演習
- 20～21. 災害保健演習
- 22～29. 健康教育演習：
実習施設グループで、健康教育の企画立案、媒体作成等
30. まとめ

成績評価の基準

定期試験50% 演習レポート等35% 授業への参加度15%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

- ・公衆衛生関連の学内授業で学習した内容について復習を行う。
- ・実習施設である保健所および保健センター・学校・産業の事業内容等の情報をホームページやパンフレットを活用するため演習前に入手しておく。
- ・各実習施設の場所や交通手段を各自で調べておく。
- ・実習期間中におこなわれる事業について、あらかじめ情報を得ておく必要があるものは把握して入手しておく。

履修上のアドバイス及び留意点

- ・目の前の実習につながるよう、主体的な努力を必要とする。
- ・既習の関連科目を全て復習したうえで、学習に臨みましょう

教材・教科書

『標準保健師講座1』 医学書院
『標準保健師講座2』 医学書院
『標準保健師講座3』 医学書院
公衆衛生看護学.jp 第4版 インターメディカル
国民衛生の動向 2017/2018 厚生労働統計協会

参考書

「地域看護診断 技法と実際」 金川克子編、東京大学出版会、その他適宜、講義時に紹介予定